

四日市市における 在宅医療・介護連携の取組について

四日市市健康福祉部
保健企画課

四日市市における在宅医療・介護連携事業

▼概要

(1) 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護関係機関の強化を図り、切れ目のないサービスを提供できる体制の充実を図る。

(2) 個別事業内容

- ①安心の地域医療検討委員会及び各部会における地域課題の共有・対応策の検討
- ②がん患者の支援（若年がん患者在宅療養支援事業）
 - 訪問介護・入浴、福祉用具貸与・購入等にかかる費用の一部を補助（令和6年10月～）
- ③医療・介護関係者の連携強化に向けた相談窓口の運営
 - 四日市市在宅医療・介護連携支援センター～つなぐ～
- ④介護・看護人材の育成、研修の充実
 - 看護師在宅医療派遣研修、ケアマネジャー等向け研修会
- ⑤市民向け講演会の開催と市民企画の講演会への支援
- ⑥「ACP（人生会議）」の普及啓発推進

ACP普及啓発の令和6、7年度の実績・予定一覧

項目	内容	
令和6年度 実績		
資材の制作	● 市民啓発推進部会：ポスター、チラシ、YouTube動画（2本）の制作 はじめての在宅医療の改訂→ACPのページを追加	
市民への普及啓発	● 在宅医療啓発活動事業（市民企画の講演会（2地区）にて人生会議の説明）	
	令和7年度 実績	令和7年度 予定
普及啓発資材の活用	● 医療・介護関係機関によるポスター、チラシの掲示や配布 ● 庁舎モニター（本庁・総合会館）での動画放送	
シンポジウムの開催	● 5/24 文化会館第2ホール →詳細、来場者アンケートの結果は別紙参照	
各種セミナー	● 5/20 健康経営セミナー（商工会議所主催）での資料配布	● 10/24 健康経営セミナー（市主催）での講義
これからノートの活用	● 地区市民センター、包括・在介等での配布、配架 ● 市職員向け退職者セミナーでの配布 ● 市乳幼児検診会場での配架 ● ステキ健康サポーター（健康ボランティア）への配付 等	
市広報等	● 広報4月上旬号準特集 ● 市ホームページでのコンテンツ作成 ● 各地区回覧への掲載	
医療・介護関係者	● 7/17 医療と訪問看護の連携を考える交流会（市立病院主催） →市立病院内職員及び訪問看護師を対象とした学習会での説明	
教育現場	● 7/14 四日市看護医療大学（2年生）向けの講義 ● 5/7 小・中学校へのポスター掲示依頼	
市民への普及啓発	● 在宅医療啓発活動事業（日永地区「最期まで自分らしく生きる為にアドバンス・ケア・プランニング「ACP/人生会議」て何だろう？」 ● 在宅医療啓発活動事業（三重地区「人生会議をしましょう」）	● 在宅医療啓発活動事業（富洲原地区「ACPって何だろう？～私が決める人生最後の医療とケア～」）

3

ACP普及啓発の主な取組 ～普及啓発資材の作成～



ポスター (1,000部)

掲示場所

- ◆ 医療機関 (病院、診療所、歯科診療所、薬局等)
- ◆ 介護施設 (包括、在介、居宅介護支援事業所、訪看等)
- ◆ 大学、専門学校 (主に医療・福祉系)
- ◆ 小、中学校
- ◆ 各地区市民センター、人権プラザ 等



チラシ (10,000部)

配布場所

- ◆ 医療機関 (病院、診療所、歯科診療所、薬局等)
- ◆ 介護施設 (包括、在介、居宅介護支援事業所、訪看等)
- ◆ 各地区市民センター、人権プラザ 等



動画

3分版、15秒版の2本を作成

- ◆ YouTubeへの掲載
- ◆ 市役所本庁舎および総合会館での放送

ACP普及啓発の主な取組

～広報よっかいち 令和7年4月上旬号 準特集記事～

あなたのこれからを考える 人生会議をはじめよう

人生会議とは、もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族などの大切な人や医療・福祉関係者と繰り返し話し合い、共有することです。「自分らしい生き方」を実現するために、身近な人と今から人生会議を始めませんか。
※「人生会議」は、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）ともいいます



人生会議にまつわるギモン

■なぜ必要なの？

命の危険が迫った時、約70%の人が、自分が望む医療やケアなどについて決めた、希望を伝えたりできなくなると言われています。そんな時でも決めなければならないことはたくさんあります。前もって自分の考えを周囲の人に伝えておけば、その思いは尊重されやすく、また、本人に代わって選択をする人の負担が軽くなります。

■いつから始めるの？

人生会議は、年齢に関係なくいつからでも始められます。自分の考えが伝えられる元気な時から話し合ってみましょう。まずは自分が取り組んでみると、家族や友人にも勧めやすいのではないのでしょうか。

チェックしてみよう！

人生会議で話したいのはこんなこと

- 1 もしもの時に、あなたの代わりに、受けたい医療やケアについて話し合っておきたい人は誰ですか？
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------|---|--|
| <input type="checkbox"/> 配偶者・パートナー | <input type="checkbox"/> 子 | <input type="checkbox"/> 孫 | <input type="checkbox"/> きょうだい |
| <input type="checkbox"/> 親戚 | <input type="checkbox"/> 友人 | <input type="checkbox"/> かかりつけ医・ケアマネジャー | <input type="checkbox"/> その他（ さん） |
- 2 あなたにとって大切なことはどんなことですか？
- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 家族や友人のそばにいたいこと | <input type="checkbox"/> 仕事を続けられること |
| <input type="checkbox"/> できる限りの治療を受けること | <input type="checkbox"/> 家族の負担にならないこと |
| <input type="checkbox"/> 痛みや苦しみが少ないこと | <input type="checkbox"/> 少しでも長く生きること |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |
- 3 病状の悪化などにより、自分の考えを伝えられなくなった場合に、どこで過ごしたいですか？
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 病院 | <input type="checkbox"/> 自宅 | <input type="checkbox"/> 施設 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|

人生会議をサポートする「これからノート」

自分がどう生きたいのか考え、人と共有するツールとして活用できる「これからノート」を配布しています。家族や周囲の人と一緒に書きながら、思いを整理してみてください。

配布場所 市内病院（地域連携室、医療相談室）、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、保健企画課（総合会館4階）、四日市医師会

■市ホームページからもダウンロードできます



市ホームページ



医療の現場から、人生会議のススメ

かかりつけ医として約29年、多くの患者さんに関わってきました。長く診ている患者さんの中には高齢になり、通院できなくなる人もいます。在宅で診てほしいという要望を受けることが多くなり、7年前から午後の診療はすべて訪問診療にしました。国が平成30年に、アドバンス・ケア・プランニングの愛称を「人生会議」と定めて推奨し始めた時期は、ちょうど私が多くの患者さんの人生の最期を在宅で見届けることが増えていた頃でした。経験上、どんなケアを受けたいか、最期をどう過ごすのか、本人の気持ちで共有できていて思い通りに過ごせると、本人も、サポートする家族も後悔が残らないと感じています。

「人生会議」とは、受けたい医療やケアをどうするかだけでなく、自分らしくどう生きていくのかを周りに話しておくことです。人は言葉にすることで初めて自分の気持ちを整理できて、その中で気付いた希望を実現しようと、前向きに生きられるようになるのではないのでしょうか。

「人生会議」が広まり、年配の人も若い人も含め、四日市市民みんなにとって「人生会議」をすることが当たり前になる。それは本人も家族も、医療従事者にとっても、幸せにつながるのかなのです。



四日市医師会会長 山中賢治さん

人生会議の進め方



堀ちえみさんと一緒に人生会議について考えてみませんか

タレントの堀ちえみさんをゲストに迎え、ステージ4の舌がんを乗り越えた体験談と人生会議についてお話しいたします。

- 演題 舌がんを乗り越えて生きる～私らしい生き方～
- 5月24日（土）13:30から（13:00開場） 文化会館第2ホール
- 500人（先着順） 無料
- 4月5日～5月12日に、専用フォームから、または、はがきで、代表者の住所・名前・電話番号、参加者全員の名前（5人まで）、〒510-0075 安島1-3-31ナリ工四日市4階（株）デルタスタジオ内「舌がんを乗り越えて生きる～私らしい生き方～」事務局へ
- 手話通訳・要約筆記あり ■（株）デルタスタジオ ☎355-1320 平日 10:00～18:00



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 保健企画課 ☎354-8281 FAX 351-3304

内容

- 人生会議にまつわるギモン
- 人生会議で話したいのはこんなこと
- 医療の現場から、人生会議のススメ
※山中先生インタビュー
- 人生会議の進め方
- 人生会議をサポートする「これからノート」

ACP普及啓発の主な取組

～市ホームページでのコンテンツ作成～



ポスターの二次元コードからホームページに誘導




二次元コード

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について

問い合わせ番号：17242-0513-5169 更新日：2025年 4月 7日

人生会議ポスター クイズのこたえあわせ



人生会議ポスターのクイズは・・・**全部が正解！**

自分で考えてみることも、周りの人と話すことも、どれも大切なんだ！

色んな意味が込められているんだね♪

人生会議を知らない人も、このページを見ればよくわかるよ！

市のマスコットキャラクターたちが出演する動画もあるから見てみてね♪

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）って何？

もしものときに、あなたがどのような医療やケアを望むかについて事前に考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者等と話し合い、共有する取組のことです。

四日市市では、医療・介護の関係機関と連携し、「人生会議」（ACP）の普及啓発を目的としたポスターなどを作成しています。

下記からダウンロード、視聴できますので、ぜひご利用ください。

ライフメニュー

- 妊娠・出産
- 子育て・入園
- 学校教育
- 就職・退職
- 引越し・住まい
- 結婚・離婚
- 健康・医療
- 高齢・介護・障害・福祉
- おこやみ

ACP普及啓発の主な取組 ～市民向けシンポジウム～



令和7年5月24日(土) シンポジウム開催
『人生会議について考える！
堀ちえみ氏講演「舌がんを乗り越えて生きる～私らしい生き方～」』

来場者数 487名 （アンケート回収率 50.1%（244名））

タレントの堀ちえみさんを講師に迎え、舌がんを乗り越えた実体験や、娘さんとの対話から治療に対する気持ちの変化が起きたこと等、人生会議にも関わる貴重なお話をいただいた。

トークセッションでは、来場者が今後の生き方について考えるきっかけとなるよう、山中先生、森市長も一緒に人生会議についての闊達な意見交換が行われた。

